

令和4年度行政事業レビューシート（サマリー・試行版）（ 環境省 ）

<b>事業名</b>	熱中症対策推進事業			<b>担当部局</b>	環境保健部	<b>担当課室</b>	環境安全課																																																											
<b>事業開始年度</b>	平成24年度	<b>事業終了（予定）年度</b>	終了予定なし	<b>作成責任者</b>	課長 高澤 哲也																																																													
<b>事業の目的</b> (3行程度以内)	平成22年以降、我が国の熱中症による救急搬送者数や死亡者数が急激に増加しており、個人の熱中症対策についての意識をより一層高めるとともに、自治体における地域の特性を生かした熱中症対策を支援することにより熱中症の被害の減少につなげる。また、新型コロナウイルス感染症の予防策との両立を目指した熱中症対策などの課題について、新しい生活様式における効果的な情報発信を行い、適切な予防行動を促す。				<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円) (インプット)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度要求</td> </tr> <tr> <td>当初予算</td> <td>139</td> <td>139</td> <td>172</td> <td>122</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>補正予算</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>290</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度から繰越し</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>275</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>翌年度へ繰越し</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>▲275</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予備費等</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>139</td> <td>139</td> <td>187</td> <td>397</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>執行額</td> <td>140</td> <td>125</td> <td>172</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>101%</td> <td>90%</td> <td>92%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)</td> <td>101%</td> <td>90%</td> <td>37%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求	当初予算	139	139	172	122	279	補正予算	-	-	290	-		前年度から繰越し	-	-	-	275	-	翌年度へ繰越し	-	-	▲275	-		予備費等	-	-	-	-		計	139	139	187	397	279	執行額	140	125	172			執行率(%)	101%	90%	92%			当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	101%	90%	37%		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度要求																																																											
当初予算	139	139	172	122			279																																																											
補正予算	-	-	290	-																																																														
前年度から繰越し	-	-	-	275			-																																																											
翌年度へ繰越し	-	-	▲275	-																																																														
予備費等	-	-	-	-																																																														
計	139	139	187	397	279																																																													
執行額	140	125	172																																																															
執行率(%)	101%	90%	92%																																																															
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	101%	90%	37%																																																															
<b>現状・課題</b> (現状把握・課題)	熱中症対策は国民の命に直結するため、地域差なく、どの地域においても適切な対策がなされていることが重要であるが、現状は対策に熱心な地域とそうではない地域との差が生じている。猛暑が増加する中、地域における熱中症対策は、呼び掛けにとどまらず、組織的な声かけや熱中症警戒アラートの活用のルール化などが重要となってくる。令和3年度の自治体アンケート結果では、熱中症対策について呼び掛け等を行っている自治体は88%あるが、庁内の連絡会議等がある自治体は3%、行事の中止等のルール策定・導入が行われている自治体は6%と少なく、組織的な熱中症対策に繋がっていない(※1)。また、令和3年度の東京都23区の熱中症死者データによると、死亡者のうち8割以上が65歳以上の高齢者であり、また屋内の死亡者のうち9割がエアコンを所有していないか、使用していなかった(※2)。エアコンの普及及び暑熱環境が厳しいときなどのエアコンの適正な使用の啓発は喫緊の課題である。																																																																	
<b>事業概要</b> (5行程度以内)	※1 令和3年度第2回熱中症予防対策に資する効果的な情報発信に関する検討会 ※2 東京都監察医務院調べ 「熱中症対策行動計画」に基づいて、環境省が行う熱中症対策の主な事業は以下のとおり。 ・熱中症による死亡者の約8割を占める高齢者に対する対策を中心として、普及啓発資料の作成・イベントの実施、自治体の担当職員、民生委員や一般の方などを対象としたシンポジウムの開催 ・地方自治体における熱中症対策を促進するため、「地域における効果的な熱中症予防対策支援事業」として、モデル地域を選定し、地域における優れた熱中症対策に支援を行い全国への横展開を図る。 ・熱中症対策としてのエアコンの一層の普及促進を図るため、サブスクリプションを活用したエアコン普及促進事業を実施し、低所得者でもエアコンの使用が可能となる社会作りのための支援事業を実施。																																																																	
<b>活動内容</b> (アクティビティ)	① 熱中症に関する基礎的な知識をはじめ、高齢者や子どもの熱中症対策や学校現場などでの熱中症対策に関して、自治体の担当職員、民生委員、一般の方などを幅広く対象としたシンポジウムや講習会を開催して、予防知識の普及を図る。特に、令和3年度から全国展開している熱中症警戒アラートについて、当該アラート情報を活用して各現場において具体的な予防行動をとってもらえるよう周知徹底を図る。				② 地方自治体における熱中症対策を促進するため、「地域における効果的な熱中症予防対策支援事業」として、モデル地域を選定し、地域における優れた熱中症対策に支援を行い、モデル地域の取組を報告会等を通じ、全国へ波及させることを目指す。また、モデル地域における取組の紹介を含む「地域における熱中症対策ガイドライン（仮）」を令和4年度に作成して、全国への横展開を図る。																																																													
<b>活動目標及び活動実績</b> (アウトプット)	<table border="1"> <tr> <th>活動目標</th> <th>活動指標</th> <th>単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>4年度活動見込</th> <th>5年度活動見込</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">シンポジウム・講習会への参加</td> <td>熱中症に係るシンポジウム・講習会の実施回数</td> <td>活動実績 回</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>当初見込み 回</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>-</td> </tr> </table>	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	シンポジウム・講習会への参加	熱中症に係るシンポジウム・講習会の実施回数	活動実績 回	2	7	2	-	-		当初見込み 回	16	16	10	2	-	<table border="1"> <tr> <th>活動目標</th> <th>活動指標</th> <th>単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>4年度活動見込</th> <th>5年度活動見込</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域における優れた熱中症対策の取組を支援し、地域住民に対する熱中症対策の理解を促す。</td> <td>本事業に参画したモデル地域数</td> <td>活動実績 自治体数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>当初見込み 自治体数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>-</td> </tr> </table>	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	地域における優れた熱中症対策の取組を支援し、地域住民に対する熱中症対策の理解を促す。	本事業に参画したモデル地域数	活動実績 自治体数	-	-	8	4	-		当初見込み 自治体数	-	-	8	4	-																		
活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込																																																											
シンポジウム・講習会への参加	熱中症に係るシンポジウム・講習会の実施回数	活動実績 回	2	7	2	-	-																																																											
		当初見込み 回	16	16	10	2	-																																																											
活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込																																																											
地域における優れた熱中症対策の取組を支援し、地域住民に対する熱中症対策の理解を促す。	本事業に参画したモデル地域数	活動実績 自治体数	-	-	8	4	-																																																											
		当初見込み 自治体数	-	-	8	4	-																																																											
<b>成果目標及び成果実績</b> (初期アウトカム)	<table border="1"> <tr> <th>定量的な成果目標</th> <th>成果指標</th> <th>単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>中間目標</th> <th>目標最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">熱中症予防情報サイトのアクセス件数を近年の最大件数程度とする。</td> <td>熱中症予防情報サイトへのアクセス数(件)</td> <td>成果実績 件(千件)</td> <td>29,010</td> <td>47,587</td> <td>43,640</td> <td>7年度</td> <td>12年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 件(千件)</td> <td>30,000</td> <td>29,000</td> <td>47,587</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成度 %</td> <td>96.7</td> <td>164.1</td> <td>91.7</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	熱中症予防情報サイトのアクセス件数を近年の最大件数程度とする。	熱中症予防情報サイトへのアクセス数(件)	成果実績 件(千件)	29,010	47,587	43,640	7年度	12年度		目標値 件(千件)	30,000	29,000	47,587	50,000	50,000		達成度 %	96.7	164.1	91.7	-	-	<table border="1"> <tr> <th>定量的な成果目標</th> <th>成果指標</th> <th>単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>中間目標</th> <th>目標最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">自治体において、暑くなる前から熱中症対策が実施されることにより、住民の予防行動の徹底につながる。</td> <td>自治体(R元年度は184自治体、R2年度は156自治体、R3年度は802自治体)を対象としたアンケートで、暑くなる前から熱中症対策を行ったと回答した割合</td> <td>成果実績 %</td> <td>93.5</td> <td>89</td> <td>68</td> <td>7年度</td> <td>12年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 %</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成度 %</td> <td>93.5</td> <td>89</td> <td>68</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	自治体において、暑くなる前から熱中症対策が実施されることにより、住民の予防行動の徹底につながる。	自治体(R元年度は184自治体、R2年度は156自治体、R3年度は802自治体)を対象としたアンケートで、暑くなる前から熱中症対策を行ったと回答した割合	成果実績 %	93.5	89	68	7年度	12年度		目標値 %	100	100	100	100	100		達成度 %	93.5	89	68	-	-				
定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度																																																											
熱中症予防情報サイトのアクセス件数を近年の最大件数程度とする。	熱中症予防情報サイトへのアクセス数(件)	成果実績 件(千件)	29,010	47,587	43,640	7年度	12年度																																																											
		目標値 件(千件)	30,000	29,000	47,587	50,000	50,000																																																											
		達成度 %	96.7	164.1	91.7	-	-																																																											
定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度																																																											
自治体において、暑くなる前から熱中症対策が実施されることにより、住民の予防行動の徹底につながる。	自治体(R元年度は184自治体、R2年度は156自治体、R3年度は802自治体)を対象としたアンケートで、暑くなる前から熱中症対策を行ったと回答した割合	成果実績 %	93.5	89	68	7年度	12年度																																																											
		目標値 %	100	100	100	100	100																																																											
		達成度 %	93.5	89	68	-	-																																																											
<b>成果目標と成果指標の設定理由及び設定根拠</b>	設定理由：講習会などの普及啓発活動を通じて熱中症に対する関心を高めることによって、予防情報を得るためサイトへのアクセスが増えると考えられるため 設定根拠：環境省熱中症予防情報サイト				設定理由：地方自治体の熱中症対策として、呼びかけ等の取組が暑くなる前から実施されることにより、住民の予防行動の徹底につながるため。 設定根拠：熱中症に関する地方自治体担当部局アンケート（R1 172/184自治体、R2 132/156自治体、R3 552/802自治体）																																																													
<b>成果目標及び成果実績</b> (最終アウトカム)	<table border="1"> <tr> <th>定量的な成果目標</th> <th>成果指標</th> <th>単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>中間目標</th> <th>目標最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">少なくとも「熱中症警戒アラート」の発表時はエアコンを使用し頂く</td> <td>「熱中症警戒アラート」を発表を知ったときの行動としてエアコンを使用した割合</td> <td>成果実績 %</td> <td>-</td> <td>48</td> <td>59</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 %</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>70</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成度 %</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	少なくとも「熱中症警戒アラート」の発表時はエアコンを使用し頂く	「熱中症警戒アラート」を発表を知ったときの行動としてエアコンを使用した割合	成果実績 %	-	48	59	-	-		目標値 %	-	-	-	70	90		達成度 %	-	-	-	-	-	<table border="1"> <tr> <th>定量的な成果目標</th> <th>成果指標</th> <th>単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>中間目標</th> <th>目標最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">熱中症死者の「年1,000人以下」という目標をR12年まで継続的に達成し、顕著な減少傾向に転じさせる</td> <td>熱中症による年間死亡者数</td> <td>成果実績 人</td> <td>1,224</td> <td>1,528</td> <td>750</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成度 %</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	熱中症死者の「年1,000人以下」という目標をR12年まで継続的に達成し、顕著な減少傾向に転じさせる	熱中症による年間死亡者数	成果実績 人	1,224	1,528	750	-	-		目標値 人	-	-	1,000	1,000	1,000		達成度 %	-	-	-	-	-				
定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度																																																											
少なくとも「熱中症警戒アラート」の発表時はエアコンを使用し頂く	「熱中症警戒アラート」を発表を知ったときの行動としてエアコンを使用した割合	成果実績 %	-	48	59	-	-																																																											
		目標値 %	-	-	-	70	90																																																											
		達成度 %	-	-	-	-	-																																																											
定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度																																																											
熱中症死者の「年1,000人以下」という目標をR12年まで継続的に達成し、顕著な減少傾向に転じさせる	熱中症による年間死亡者数	成果実績 人	1,224	1,528	750	-	-																																																											
		目標値 人	-	-	1,000	1,000	1,000																																																											
		達成度 %	-	-	-	-	-																																																											
<b>成果目標と成果指標の設定理由及び設定根拠</b>	設定理由：個人の熱中症対策についての意識が高まれば、熱中症警戒アラートに注意を払い、アラート発表時の具体的な予防行動に繋がると考えるため 設定根拠：熱中症に関する国民アンケート				設定理由：「熱中症対策行動計画」に定められる中期的な目標 設定根拠：厚生労働省人口動態統計																																																													
<b>最終的に目指す姿</b> (インパクト)	熱中症による死亡者数ゼロ																																																																	

令和4年度行政事業レビューシート（試行版）（環境省）

<b>事業名</b>	熱中症対策推進事業			<b>担当部局庁</b>	環境保健部	<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成24年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	<b>担当課室</b>	環境安全課	課長 高澤 哲也	
<b>会計区分</b>	一般会計						
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>				<b>関係する 計画、通知等</b>	熱中症対策行動計画		
<b>主要政策・施策</b>	科学技術・イノベーション、国土強靱化施策、2020年東京オリパラ			<b>主要経費</b>	文教及び科学振興		
<b>事業の目的 (3行程度以内)</b>	平成22年以降、我が国の熱中症による救急搬送者数や死亡者数が急激に増加しており、個人の熱中症対策についての意識をより一層高めるとともに、自治体における地域の特性を生かした熱中症対策を支援することにより熱中症の被害の減少につなげる。また、新型コロナウイルス感染症の予防策との両立を目指した熱中症対策などの課題について、新しい生活様式における効果的な情報発信を行い、適切な予防行動を促す。						
<b>現状・課題 (現状把握・課題 (可能な限り定量 データを記載))</b>	熱中症対策は国民の命に直結するため、地域差なく、どの地域においても適切な対策がなされていることが重要であるが、現状は対策に熱心な地域とそうではない地域との差が生じている。猛暑が増加する中、地域における熱中症対策は、呼び掛けにとどまらず、組織的な声かけや熱中症警戒アラートの活用のルール化などが重要となってくる。令和3年度の自治体アンケート結果では、熱中症対策について呼び掛け等を行っている自治体は88%あるが、庁内の連絡会議等がある自治体は3%、行事の中止等のルール策定・導入が行われている自治体は6%と少なく、組織的な熱中症対策に繋がっていない。 (※1)。また、令和3年度の東京都23区の熱中症死亡者データによると、死亡者のうち8割以上が65歳以上の高齢者であり、また屋内の死亡者のうち9割がエアコンを所有していないか、使用していなかった(※2)。エアコンの普及及び暑熱環境が厳しいときなどのエアコンの適正な使用の啓発は喫緊の課題である。 ※1 令和3年度第2回熱中症予防対策に資する効果的な情報発信に関する検討会 ※2 東京都監察医務院調べ						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	「熱中症対策行動計画」に基づいて、環境省が行う熱中症対策の主な事業は以下のとおり。 ・熱中症による死亡者の約8割を占める高齢者に対する対策を中心として、普及啓発資料の作成・イベントの実施、自治体の担当職員、民生委員や一般の方などを対象にしたシンポジウムの開催 ・地方自治体における熱中症対策を促進するため、「地域における効果的な熱中症予防対策支援事業」として、モデル地域を選定し、地域における優れた熱中症対策に支援を行い全国への横展開を図る。 ・熱中症対策としてのエアコンの一層の普及促進を図るため、サブスクリプションを活用したエアコン普及促進事業を実施し、低所得者でもエアコンの使用が可能となる社会作りのための支援事業を実施。						
<b>実施方法</b>	直接実施、委託・請負						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)</b>			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	139	139	172	122	279
		補正予算	-	-	290	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	275	-
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 275	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	139	139	187	397	279
	執行額		140	125	172		
執行率 (%)		101%	90%	92%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		101%	90%	37%			
<b>令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	公害調査費	121	278	水大気局のクールシティ事業の移管、「地域における熱中症対策ガイドライン」を活用した地域の熱中症対策支援事業の拡充、サブスクリプションを活用した業務用エアコン普及促進モデル事業を当初予算で要求 以上3点が主な増額の理由。			
	環境保全研究職員旅費	0.5	1				
	計	122	279				

<b>活動内容① (アクティビティ)</b>	熱中症に関する基礎的な知識をはじめ、高齢者や子どもの熱中症対策や学校現場などでの熱中症対策に関して、自治体の担当職員、民生委員、一般の方などを幅広く対象としたシンポジウムや講習会を開催して、予防知識の普及を図る。特に、令和3年度から全国展開している熱中症警戒アラートについて、当該アラート情報を利用して各現場において具体的な予防行動をとってもらえるよう周知徹底を図る。								
<b>活動目標及び活動実績① (アウトプット)</b>	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	シンポジウム・講習会への参加	熱中症に係るシンポジウム・講習会の実施回数	活動実績	回	2	7	2	-	-
			当初見込み	回	16	16	10	2	-
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	熱中症に係る講習会等開催業務執行額／開催回数	単位当たりコスト	万円	48.4	47.1	34	-		
		計算式	万円／回	677/14	330/7	68/2	-		
<b>成果目標及び成果実績①-1 (初期アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7年度	目標最終年度 12年度
	熱中症予防情報サイトのアクセス件数を近年の最大件数程度とする。	熱中症予防情報サイトへのアクセス数(件)	成果実績	件(千件)	29,010	47,587	43,640	-	-
			目標値	件(千件)	30,000	29,000	47,587	50,000	50,000
			達成度	%	96.7	164.1	91.7	-	-
<b>成果目標と成果指標の設定理由及び設定根拠 (根拠として用いた統計・データ名(出典)含む) ①-1</b>	設定理由: 講習会などの普及啓発活動を通じて熱中症に対する関心を高めることによって、予防情報を得るためサイトへのアクセスが増えると考えられるため 設定根拠: 環境省熱中症予防情報サイト								
<b>成果目標及び成果実績①-2 (最終アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7年度	目標最終年度 12年度
	少なくとも「熱中症警戒アラート」の発表時はエアコンを使用して頂く	「熱中症警戒アラート」を発表を知ったときの行動としてエアコンを使用した割合	成果実績	%	-	48	59	-	-
			目標値	%	-	-	-	70	90
			達成度	%	-	-	-	-	-
<b>成果目標と成果指標の設定理由及び設定根拠 (根拠として用いた統計・データ名(出典)含む) ①-2</b>	設定理由: 個人の熱中症対策についての意識が高まれば、熱中症警戒アラートに注意を払い、アラート発表時の具体的な予防行動に繋がると考えるため 設定根拠: 熱中症に関する国民アンケート								

<b>活動内容② (アクティビティ)</b>		地方自治体における熱中症対策を促進するため、「地域における効果的な熱中症予防対策支援事業」として、モデル地域を選定し、地域における優れた熱中症対策に支援を行い、モデル地域の取組を報告会等を通じ、全国へ波及させることを目指す。また、モデル地域における取組の紹介を含む「地域における熱中症対策ガイドライン(仮)」を令和4年度に作成して、全国への横展開を図る。								
<b>活動目標及び活動実績② (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
		地域における優れた熱中症対策の取組を支援し、地域住民に対する熱中症対策の理解を促す。	本事業に参画したモデル地域数	活動実績	自治体数	-	-	8	4	-
				当初見込み	自治体数	-	-	8	4	-
<b>単位当たりコスト</b>		算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
		本事業に参加した自治体に対する支援額 / 本事業に参画したモデル地域数		単位当たりコスト	万円	-	-	490	500	
				計算式	万円/地域数	-	-	3925万円/8地域	上限500万円	
<b>成果目標及び成果実績②-1 (初期アウトカム)</b>		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7年度	目標最終年度 12年度
		自治体において、暑くなる前から熱中症対策が実施されることにより、住民の予防行動の徹底につながる。	自治体(R元年度は184自治体、R2年度は156自治体、R3年度は802自治体)を対象としたアンケートで、暑くなる前から熱中症対策を行ったと回答した割合	成果実績	%	93.5	89	68	-	-
				目標値	%	100	100	100	100	100
				達成度	%	93.5	89	68	-	-
<b>成果目標と成果指標の設定理由及び設定根拠(根拠として用いた統計・データ名(出典)含む)②-1</b>		設定理由: 地方自治体の熱中症対策として、呼びかけ等の取組が暑くなる前から実施されることにより、住民の予防行動の徹底につながると考えるため。 設定根拠: 熱中症に関する地方自治体担当部局アンケート(R1 172/184自治体、R2 132/156自治体、R3 552/802自治体)								
<b>成果目標及び成果実績②-2 (最終アウトカム)</b>		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7年度	目標最終年度 12年度
		熱中症死亡者の「年1,000人以下」という目標をR12年まで継続的に達成し、顕著な減少傾向に転じさせる	熱中症による年間死亡者数	成果実績	人	1,224	1,528	750	-	-
				目標値	人	-	-	1,000	1,000	1,000
				達成度		-	-	-	-	-
<b>成果目標と成果指標の設定理由及び設定根拠(根拠として用いた統計・データ名(出典)含む)②-2</b>		設定理由: 「熱中症対策行動計画」に定められる中期的な目標 設定根拠: 厚生労働省人口動態統計								
<b>最終的に目指す姿(インパクト)</b>		熱中症による死亡者数ゼロ								
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	-								
	政策評価			政策評価書URL	<a href="https://www.env.go.jp/guide/seisaku/index.html">https://www.env.go.jp/guide/seisaku/index.html</a>					
	施策	7 環境保健対策の推進 9 環境政策の基盤整備		該当箇所	7-4②熱中症対策シンポジウム等の参加者数 7-4③熱中症の普及啓発の進捗度(アンケートにおいて暑くなる前から熱中症対策を行ったと回答した自治体の割合) 7-4④年間の熱中症死亡者数 9-3①環境研究総合推進費の事後評価(5段階)で上位2段階を獲得した課題数(上位2段階の課題数/全評価対象課題数)					
	再生計画改革	分野:	-							
	取組事項	(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:								
		該当箇所								

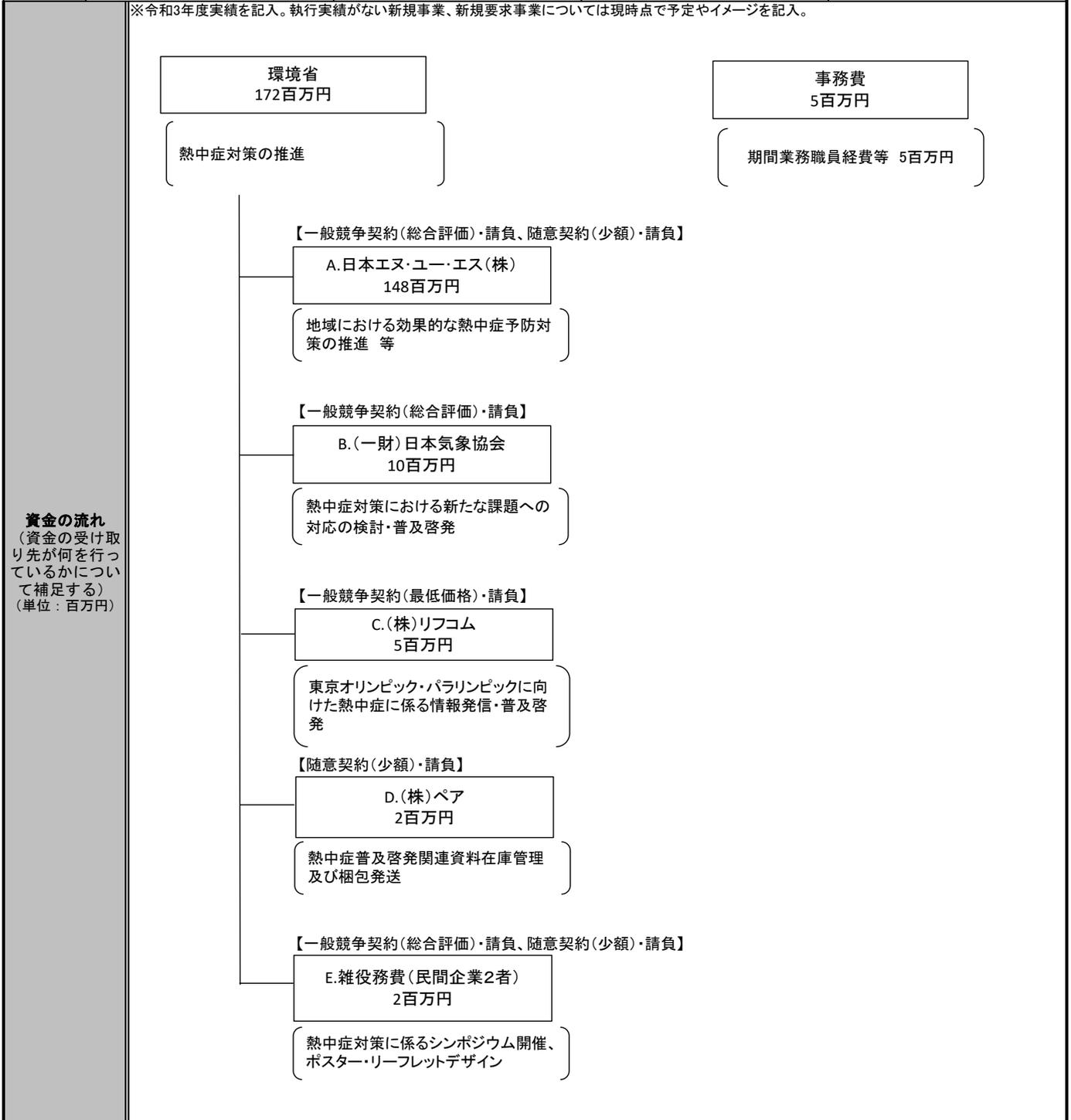
事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	熱中症は生命にかかわるが、適切な対策をとればそれを防ぐことができる疾患であり、対策は必須である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国民の生命にかかわる疾患に関する知識を正しく普及・啓発するためには、全てを地方自治体、民間等に委ねることは不適切である。国として熱中症対策について基本的な考え方を示し、地方自治体毎の熱中症対策推進に繋げる必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	熱中症は生命にかかわる疾患であることから、必要かつ適切な事業である。また、優先度も高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	効率的に業務が行われるよう仕様書を作成し、入札により事業実施機関を選定。一者応札の事業については、公告期間の延長を行う等の緩和を行っている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	効率的な事業の運営に取り組んでおり、妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	仕様書に沿ったものになるように費用・使途を限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	令和3年度の補正予算が繰り越されしており、熱中症による死者ゼロを目指すうえで、熱中症対策においてエアコンの普及は喫緊の課題であるため、サブスクリプションを活用したエアコン普及促進事業を行った。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	印刷物は可能な限り一括して入札を実施している。ガイドラインはインターネットでの配布としている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	自治体が熱中症対策を行うための動機づけとして実施している普及啓発等の成果で、アンケート対象自治体数が格段に増えており、その分成果実績が低くなっているが、これから目標まで上がるよう努める。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	他の手段・方法等はなく、効果的に実施されている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	令和3年度は新型コロナウイルス感染症流行下でシンポジウムが当初と形態が異なりweb開催を行ったため、全国の複数の地域で開催していた講習会複数回分を一回で行った。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	マニュアルやガイドライン等の普及啓発資料はウェブページを通じて広く利用可能。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	環境保健部では暑さ指数(WBGT)を除く、全般的な普及啓発活動事業を行っており、水・大気環境局で行っている事業は暑さ指数(WBGT)の測定、公表事業のみを行っている。熱中症対策推進事業については、一般的な熱中症対応のみを行っている。
	事業番号	事業名	
	2022 環境 21 0117	クールシティ推進事業	
2022 環境 21 0119	オリンピック・パラリンピック暑熱環境測定事業		
点検結果	点検結果	事業の有効性の評価として成果実績が目標に達していない。	
	改善の方向性	地域主体の熱中症予防対策の一層の推進を図り、成果目標が達成できるよう努める。	
<b>外部有識者の所見</b>			
外部有識者点検対象外			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>			
通現り状	引き続き、熱中症予防策の普及啓発等を行うため、自治体等と連携をとりつつ効率的に事業を実施すること。また、一者応札の改善に向けた取り組みを検討すること。		
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>			
通現り状	引き続き、熱中症予防策の普及啓発等を行うため、自治体等と連携をとりつつ効率的に事業を実施する。また、一者応札の改善に向けて仕様書の見直しや公告期間の延長等の取り組みを検討・実施する。		
<b>備考</b>			
https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_pr.php (熱中症予防情報サイトの普及啓発資料ページ)			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	環境省-新24-012			
平成25年度	315			
平成26年度	312	新27-0026		
平成27年度	309	新27-0023		
平成28年度	289	293		
平成29年度	303			
平成30年度	304			
令和元年度	環境省 - 0297			
令和2年度	環境省 0298			
令和3年度	2021 環境 20 0313 00			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.日本エヌ・ユー・エス(株)			B.(一財)日本気象協会		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	業務費	事業研究費、謝金、速記代、印刷製本費、人件費等	134.9	人件費	ワーキンググループ運営、マニュアル改訂作業等	8.1
	その他	消費税等	13.5	謝金原稿料	ワーキンググループ委員謝金、原稿料	0.4
				会議費	座長の交通費、日当、貸会議室、機材レンタル	0.1
				印刷製本費	報告書印刷、WG議事録作成等	0.1
				一般管理費 消費税	一般管理費、消費税	1.2
	計		148.4	計		9.9
	C.(株)リフコム			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
資材費	用紙代、版代	2.6				
加工費	印刷代、加工代	1				
梱包発送費	梱包代、納品代、保管料、追加発送費	1.2				
消費税	消費税	0.5				
計		5.3	計		0	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載				チェック		

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本エヌ・ユー・エス株式会社	8011101057185	地域における効果的な熱中症予防対策の推進	146	一般競争契約 (総合評価)	1	99.9%	-
2	日本エヌ・ユー・エス株式会社	8011101057185	地方公共団体における効果的な熱中症予防対策の推進に係るモデル事業におけるモデル自治体選定補助	1	随意契約 (少額)	-	-	-
3	日本エヌ・ユー・エス株式会社	8011101057185	サブスクリプションを活用したエアコン普及促進モデル事業における実施事業者選定補助	1	随意契約 (少額)	-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般財団法人日本気象協会	4013305001526	熱中症対策における新たな課題への対応の検討・普及啓発	10	一般競争契約 (総合評価)	2	65.5%	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社リフコム	9010001072822	東京オリンピック・パラリンピックに向けた熱中症に係る普及啓発資料の印刷及び梱包発送	5	一般競争契約 (最低価格)	7	48.5%	-

